



日本蘇生学会第39回大会 協賛活動のご報告



2020年11月21日(土)、22日(日)と東京医科大学病院・自主自学館にて開催されました日本蘇生学会第39回大会に協賛し、共催セミナーの開催ならびに展示ブースにおいて「エピクスイ」の啓蒙活動を行いました。昨年の弊社本社所在地、長崎県



において開催された第38回大会に続いての協賛となり、昨年の大会で弊社製品「エピクスイ」を評価していただいた東京医科大学病院の麻酔科学分野・集中治療部の先生方からのお誘いもあつての参加となりました。

協賛内容

■共催ランチョンセミナーの実施

次亜塩素酸に関する権威で名著「次亜塩素酸の科学 -基礎と応用- (米田出版)」の著者でいらっしゃる三重大学大学院・福崎智司教授を招聘し、医療に従事されるドクター、看護師の方を中心とした参加者に向けて「次亜塩素酸の活用技術とその未来予想図」というテーマで講演を開催いたしました。

## ■展示ブースの出展・運営



新型コロナウイルス対策においてアルコールの代替品として経済産業省からその効果を評価いただいた次亜塩素酸水のさらなる普及に努める為、弊社が混合方式という製造方法により製造する次亜塩素酸水「pH調整次亜塩素酸エピクスイ」の製品説明、活用方法を展示説明いたしました。医療現場、医療従事者の方々にご利用いただいていた弊社製品の展示とご来場いただいたお客様への試用機会のご提供、パートナー会社と取り組んでいる興行（コンサートなど）の再活性化施策としての次亜塩素酸水の活用事例を器材を展示しつつご紹介しました。



## ■学会プログラムへの広告出稿

### ■WEB 広告の出稿

一昨年（2020年）の日本蘇生学会 38 回大会開催時には、新型コロナウイルスの発現もなく、弊社「エピクスイ」の医療現場での活用可能性を現場の医療関係者の方々に投げかけて探してみよう！という思いで協賛し、評価をいただいた医療関係者の方々と情報交換を続けておりましたが、昨年初頭のコロナ禍発生からは、医療従事者の方々を少しでも守れば、との思いで東京医科大学病院の ICU フロアで「エピクスイ」のスプレー使用、空間噴霧の実施を現在まで継続的に行い、同フロアの医療従事者への新型コロナウイルス院内感染ゼロという成果を得ています。この実績をさらに一般化していく為にも、救命医療、蘇生医療の最高権威機関である同学会への継続的な貢献は必須で、弊社は一般企業として唯一関われる賛助会員として加わりました。